



家庭で読む

私を照らす

ひかりの言葉 ⑭

酒井 義一

嘘やごまかし

人は時に、嘘をついたり、ごまかしたり、何かを隠すことをしてしま...

三菱自動車などが燃費を偽装するという嘘をつきました。自社の利益を上げるため、実際にはしていな...

今だけ良ければ、金だけ儲ければ、自分たちだけ良ければということなのでしょう。目先のことに目を奪われて、大切なことを見失っ...

また、東京都の舛添都知事は、高額な海外出張や公用車の私的使用、家族旅行などに政治資金を使っ...

彼が本来すべきことは、自らの立場を利用して、自分の趣味や家族サービスを追求することではありません。人々が安心して暮らせる社...

会を築き、人々が希望を持てる未来を創ることにあらず。ここにも自分のことを中心に考えるあまり、人間を見失っているという深い闇が存在しています。

嘘を積み重ねて

これらの出来事は到底許されるべきことではありません。なぜそうなってしまったのか、事実を明らかにし、きちんと謝罪をし、再発を防止しなければならぬことは、言うまでもないことです。

その上でこのことですが、実は、人は本質的に、嘘をつき、ごまかし、事実を隠そうとするものを、誰もが抱えているのではないかと思うのです。今までの人生で一度も嘘をついたことがないという人は、おそらくいないでしょう。

子どもは、親には見せられないテストの点数を隠し、大人は人には見せられない自分自身を隠す。もちろん程度の差はありますが、人は誰でも小さな嘘やごまかしを積み重ねて今を生きているのではないのでしょうか。

いたみを感じていく心

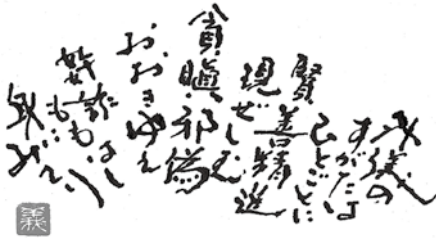
では、親鸞さまはどうだったのでしょうか。親鸞さまのような方は、嘘をついたり、ごまかししたり、隠すことはしなかったのでしょうか。ここに、親鸞さまが晩年に書かれた「愚禿悲嘆述懐和讃」があります。

外儀のすがたはひとことに賢善精進現せしむ

貪瞋邪偽おおよきゆえ

奸詐もはし身にみり

多くなると影響を与え、多くの人々に慕われていた親鸞さまの晩年の告白です。外側は賢善精進のすがたをしているけれども、内面には、むさぼりの心や怒りの心、よこしまな心や偽りの心が満ち満ちている身である、と告白されているのです、しかも悲嘆しながら。何という自己凝視でしょうか。



次回藤場芳子さんの「女と男のナムアミダブツ」です。

7月 壇案内

- 2日(土) 頓乗寺[萩原町] 西方寺[清見町]
3日(日) 玄興寺[岡本町] 光雲寺[萩原町]
9日(土) 永養寺[萩原町] 蓮光寺[馬瀬]
10日(日) 速入寺[石浦町]
13日(水) 浄福寺[小坂町]
15日(金) 妙覺寺[萩原町]
17日(日) 久々野教会
[久々野町] 慈雲寺[萩原町]
18日(月) 賢誓寺[萩原町]
19日(火) 桂林寺[馬瀬]

坊文化講座(第1回)

日時 7月9日(土) 午後1時30分から
講師 桐谷 忠夫氏 (前飛騨学の会 創設世話人)
講題 「文祿の役と金森可重の恋」
一少子高齢化時代に想うこと
会場 高山別院庫裡ホール
会費 1回 600円 3回通し
会員 1000円 一般 1500円

受付終了のお知らせ

7月29日(金)〜30日(土)開催の「児童夏のつどい」は、参加申込人数が定員に達しましたので受付を終了しました。

高山教区同朋会議報告

6月12日(日)、高山教区同朋会議を開催し、各寺院から住職・寺族・門徒代表者合わせて100人以上の方が高山別院本堂に集いました。今年度のテーマは「伝える・伝わる ～つながりの回復を願って～(青少年教化について)」。御遠忌に向けた会議の中でも、人間関係が希薄化しているといわれる現代にあって、仏事を含め、大切にしてきた事柄を次の世代にいかにつづけていけるかということが大きな課題となっており、このことを受けての開催となりました。

日程は、2月に寺院を対象に実施した青少年教化に関するアンケートの結果報告、本山青少年センター主幹・松田重世氏から「大谷派における青少年教化の現状と課題、これからの展望」について説明の後、能登教区のご門徒・藤井敏夫氏から「伝える・伝わる」をテーマに基調講義がありました。藤井氏は、「伝える・伝わる」ということに関して、酪農の仕事を通して感じるいのちの大切さ、また、「伝える」といってもまず、自分ひとりが教えるを聞く身になっていくことが大切ではないかとお話されました。

この後の10班に分かれての座談会では「お内仏に掌を合わす姿を子や孫に見せていきたい」など、様々な意見がきかれ、熱のある会議となりました。



座談会の様子

ホームページリニューアル

このたび、高山教区・高山別院のホームページをリニューアルいたしました。ブログにて行事のお知らせ、報告記事などを載せております。この「ひだご坊」もホームページ上から閲覧できるようになります。今後さらに内容を充実させてまいります。新アドレス hidagobo.jp



佐奈姫忌法要

佐奈姫(1633年~1667年)は、東本願寺第十三代宣如上人の娘で、照蓮寺宣心にわずか9歳で嫁ぎ、35歳の短い生涯を終えました。その墓前で法要を営み、聞法の座をもちます。



日時: 6月26日(日)午後1時30分から
会場: 佐奈姫墓所・松本公民館(高山市松本町)
法話: 出雲路善公 輪番

※別院から送迎があります。現地には駐車場がありませんので、参拝される方は午後1時までには別院事務所に集合ください。

定例法座・法話(午後1時から) ○6月27日(月) 出雲路善公輪番 ○6月28日(火) 小倉喜信氏「圓城寺」 ○7月1日(金) 前田法俊氏「法蓮寺」 ○7月11日(月) 出雲路善公輪番 ○7月13日(水) 鳥井伸介氏「敬勝寺」